

副 専 攻 コ ー ス 説 明 書

開設学部名 (工学部)

副専攻の種別とコースの名称	学術的副専攻 デジタルサステナビリティコース
<p>1 副専攻コースの紹介と概要</p> <p>本コースは、学際的な工学専門知識を通じて、デジタル化が進む社会の持続可能（サステナブル）な成長に貢献する次世代エンジニアの育成を目的として工学部で実施します。カーボンニュートラル、社会安全工学、数理・数学、デジタルの4分野の科目を通じて、学生は最先端の工学知識とスキルを修得し、複雑化する現代社会の課題に革新的なアプローチで取り組む総合的な実力を身に着けることができます。</p>	
<p>2 副専攻コースの開始時期と副専攻コース選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等)</p> <p>本コースの履修申請は、2年次前期以降の履修登録期間に行うことができます。本コースの履修者数については特に制限を設けませんが、下の8の欄に記載しているように、履修者の受入上限人数を設定している科目については、皆さんの履修希望にそえない可能性もあります。詳しくは8の欄を見てください。</p> <p>本コースの履修に関して、既修得要件は特にありません。</p>	
<p>3 副専攻コースの履修について</p> <p>(1) 副専攻コースの到達目標</p> <p>持続可能なデジタル社会の成長に貢献するための工学の基礎的な知識及び技能を身につけることを到達目標とします。</p> <p>(2) 副専攻コースを履修する上での注意点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本コースは、工学部の4学科以外の学部・学科所属の学生が履修できます。ただし、履修申請を行う時点までの累計GPA値が3.0以上であることが条件となります。 2 本副専攻コースの配当科目は、自由聴講制により5科目10単位までは所属学科の卒業要件に関わる専門教育科目（選択科目）の単位として認定できます。 3 所属学科の授業時間割との関係で、登録した副専攻コースの授業科目の履修が制限される場合があります。 	
<p>4 教育内容</p> <p>本コースは講義科目、実験・実習科目で構成され、各分野における基礎的な知識及び技能を身につけることができるようになっています。</p>	
<p>5 授業科目及び授業内容</p> <p>本コースの科目については別添の開講科目配当表を参照してください。</p> <p>各授業科目の内容については、各年度に公開される当該科目のシラバスを参照してください。</p>	

6 評価

(1) 試験・成績評価

講義科目では原則として定期試験を行います。毎回実施する小テストの点数等から総合的に成績評価を行う科目もあります。実験・実習科目についてはレポート等の成果物で評価します。各科目の成績評価の方法は当該科目のシラバスに記載しています。

(2) 修了要件

本コースの授業科目から **10科目20単位以上を修得した者**に、卒業時に副専攻（デジタルサステナビリティコース）の修了証書を授与します。

7 副専攻コースの責任体制

本コースの修了認定は、工学部教授会が行います。

本コースに関わる事務は、教務課と工学部・生命工学部事務室が協力して行います。

8 副専攻コース履修希望者の受入上限数

受け入れ上限は特に規定しませんが、以下の受講人数制限を課している科目については、工学部各学科所属の受講生を優先する場合があります。【建築材料実験（60名、建築学科を優先）、PythonプログラミングⅠ（80名、情報工学科を優先）、PythonプログラミングⅡ（80名、情報工学科を優先）、情報センシング（60名、情報工学科を優先）、地域ITソリューションPBL（100名、情報工学科を優先）、建築デジタルデザインⅡ（90名、建築学科を優先）、プログラミング基礎（50名、電気電子工学科を優先）、組込みプログラミング（30名、電気電子工学科を優先）、MBD（50名、電気電子工学科を優先）】

9 副専攻コースの既修得単位等の認定単位数等

履修申請時に別添の本コースの授業科目配当表に記載されている科目の単位を既に修得している場合、副専攻履修申請書（様式第2号）の裏面の表に必要事項を記入すれば、それらの科目の単位は本コースの修了要件単位に算入されます。

学術的副専攻(デジタルサステナビリティコース)授業科目配当表

科目区分	講義コード 授 業 科 目	必修	単位	1年次	2年次	3年次	4年次	備 考							
				前	後	前	後		前	後	前	後			
工学部 専門教育科目	カー ラボ ラ ン 分 ニ ュ ー ト	T06CNT1100 スマートテクノロジー概論		2	●										
		T06CNT2100 建築構造材料		2		●									
		T06CNT2150 建築環境工学 I		2		●									
		T06CNT3200 建築設備		2				●							
	社会 安全 工 学 分 野	T06SSE2250 環境工学		2			●								
		T06SSE2350 交通マネジメント		2			●								
		T06SSE2400 構造力学		2			●								
		T06SSE3600 防災と I C T		2				●							
		T06SSE3200 都市計画		2				●							
		T06SSE3650 建築材料実験		2				●							
		T06SSE3300 安全工学		2					●						
		T06SSE3400 建築防災工学		2					●						
		T06SSE3450 建築法規		2					●						
		数 理 ・ 数 学 分 野	T06MAT1100 電気電子基礎		2	●									
	T06MAT1150 電気電子数学 I			2	●										
	T06MAT1200 建築数理			2	●										
	T06MAT1250 電気電子数学 II			2		●									
	T06MAT2100 離散数学			2			●								
	T06MAT2150 コンピュータと数理			2				●							
	デ ジ タ ル 分 野		T06DTS1100 デザインリサーチ演習		2	●									
			T06DTS1150 Pythonプログラミング I		4	●									
		T06DTS1200 プログラミング基礎		2		●									
		T06DTS1250 Pythonプログラミング II		4		●									
		T06DTS1300 情報センシング		2		●									
		T06DTS2100 コンピュータネットワーク		2			●								
		T06DTS2150 デジタルシステム		2			●								
		T06DTS2200 人工知能		2			●								
		T06DTS2250 地域 I T ソリューション P B L		2			●								
		T06DTS2300 組込みプログラミング		2				●							
		T06DTS3100 建築デジタルデザイン II		2					●						
		T06DTS3150 MBD		2					●						
		T06DTS4100 電気工学概論		2						●					